

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 脱炭素社会ぎふを支える人づくり推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部 環境生活政策課 環境教育係

電話番号：058-272-1111(内2932)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,000 千円 (前年度予算額： 8,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,000	0	0	0	0	0	8,000	0	0
要求額	8,000	0	0	0	0	0	8,000	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

次代を担う小・中学生が、森・里・川・海のつながりや現代の環境問題について体験・学習・交流により理解を深め、自然と積極的に関わる姿勢や環境保全意識を醸成し、自ら考え、行動する人材を育成する。

(2) 事業内容

小・中学生及びその保護者を対象に、体験や交流を通じて「森・里・川・海のつながりや環境問題」に関する理解を深め、環境にやさしい行動への変容を促進するためのプログラムの実施

(3) 県負担・補助率の考え方

環境保全意識の醸成や人材育成を目的とした体験プログラムであるため、実施にかかる経費に関しては食事等実費を除き、県が負担することが妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	42	プロポーザル委員報償費
旅費	108	プロポーザル委員費用弁償、業務旅費
需用費	16	コピー、会議費
役務費	30	通信費
委託料	7,792	プログラム実施委託
使用料及び賃借料	12	高速道路使用料
合計	8,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ－3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信

－ ③美しく豊かな環境の保全・継承

第7次岐阜県環境基本計画

基本施策5 未来につなぐ人づくりとライフスタイルの変容

(2) 国・他県の状況

「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」の基本理念として、「環境教育は、森林等における自然体験活動その他の体験活動を通じて理解と関心を深めることの重要性を踏まえ、多様な主体の参加と協力を得るよう努め、継続的に行われるものとする（一部省略）」としている。

(3) 後年度の財政負担

「清流の国ぎふ森林・環境基金事業」として継続。

(4) 事業主体及びその妥当性

体験プログラムに係る企画、予約受注や催行は、ノウハウや様々なニーズに即時、柔軟に対応できる民間企業に委託する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

森里川海の自然環境の豊かさや環境問題の体験などを通じて、2050年脱炭素社会を目指すために自ら考え、行動する県民を増やす。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
体験プログラム 参加者数(人) (累計)		319人	300人	300人	1,500人 (R4-R8累計)	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	小中学生及びその保護者を対象に、体験や交流を通じて「森・里・川・海のつながりや環境問題」に関する理解を深め、環境にやさしい行動への変容を促進するためのプログラムの実施した。 夏8コース、秋冬6コース実施、参加者235人
	指標① 目標：300人 実績：235人 達成率：78%
令和5年度	小中学生及びその保護者を対象に、体験や交流を通じて「森・里・川・海のつながりや環境問題」に関する理解を深め、環境にやさしい行動への変容を促進するためのプログラムの実施した。 夏8コース、秋4コース、冬3コース実施、参加者348人
	指標① 目標：300人 実績：348人 達成率：116%
令和6年度	小中学生及びその保護者を対象に、体験や交流を通じて「森・里・川・海のつながりや環境問題」に関する理解を深め、環境にやさしい行動への変容を促進するためのプログラムの実施した。 夏7コース、秋6コース、冬2コース実施、参加者319人
	指標① 目標：300人 実績：319人 達成率：106.3%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	環境問題に対して子どもとその保護者がともに学ぶ機会として設けられており、その趣旨を組んでの参加者、リピータもいることから今後も必要な事業である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	目標を上回る参加があり、多くの方に環境を学ぶ機会を提供することができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	ツアー企画のノウハウや様々なニーズに即時、柔軟に対応できる民間企業に委託し、引き続き事業を実施していく。さらに、これまでの実績を踏まえ、コースの内容に応じた受入数、メニュー協力団体等の見直しを行い、参加者の増加に繋げている。

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 体験プログラム内容をより一層充実させる。 参加者増加に向けた、コース内容及び協力団体の見直し

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 脱炭素社会ぎふを支える人づくりを進めるため継続して実施する。 コース内容に応じた開催方法、受入数の検討、協力団体等の見直し等により、参加人数の増加を目指す。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【環境生活政策課】 環境情報ポータルサイト構築・運営事業費
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	ツアーでの環境プログラム終了後にポータルサイトに繋がることで、環境にやさしい行動への変容を促進することができる。